



図書館を楽しむ

学長 小池 明

私の東京の事務所から国会図書館は指呼の距離にある。蔵書の数二千三百万点に加え多方面の膨大な資料も閲覧でき、調べ物の手がかりには絶好だ。又、古本で入手できない書物をコピーしてもらう為にも時折利用する。注文した本が書庫から出てくるのを待つ人々の顔を眺めていると、所謂まじりを決して待っている人が多い。殆どの人が予め調べ物や研究の目的を持って来館し、而も急いでいる様子が漂っている。

それに比べ自宅近くの区立図書館などは雰囲気をもっと和やかで、乳幼児のコーナーもあれば、お年寄りが雑誌や新聞を眺めている姿、中には読書よりも如何にも司法試験の勉強中といった体の人、反対に寝ている人、暇つぶしに来ている人など全く様々だ。

元々私は本好きで、本に囲まれていれば幸せと感じるゆえに、自分の通った学校は当然、我が子の通う大学など訪れる機会があればできるだけ図書館をのぞいてみることにしている。色んなタイプの図書館があつていい。選択できるということがまず大切だ。

大学の図書館は、利用する人々が概ね学生と教職員に限られる(市民に開放されている場合もある)点が特徴だ。夫々が自分の研究テーマに関連して書籍、資料を探し、それを広げて研究に一心不乱、余念がないというのが一般的なあらまほしき姿かもしれない。

併し、大学の図書館はそれだけでなくもよいと思う。学生が気軽に入れる雰囲気が大事だ。敷居が高いということがあつてはならない。試験の準備も含め図書館で勉強しているのは如何にも学生らしいが、傍ら勉強に疲れて寝ている学生がいてもいい(と思う)。他の人の邪魔にさえならなければ学生同士でリラックスすることは悪いことではない(と、これも思う)。図書館担当の先生方には怒られるかもしれないが・・・。

図書館で寝る、図書館でも寝ることができるという処が味噌だ。尤も、教員が寝ていると何を言われるかわからないが、学生ならそれも特権だ。

我が国哲学界の泰斗、鈴木大拙先生は「書物は読まなくてもよい。所持するだけでよしい、書物の放出する気を取り込むのだ」と曾て言われた。哲学者が保証しているくらいだ。本の嫌いな人でもそのうち好きになるだろう。それを私も念願している。本学の図書館を大いに楽しんでもらいたい。

最後に、或る作家の言葉を紹介したい。

書棚の中から一冊の本をとり、それを読んで書棚に戻した。私はその本を読んだことさえ忘れてしまった。しかし、私はもはやその本を読まなかった時の私ではない。(アンドレ・ジイド)

読書の悦び、本への感謝、書架を渉猟することの楽しさを見事に言い尽くしているではないか。

目次

図書館を楽しむ	学長	小池 明	1
社会人が学ぶということー「図書館職員学び直し講座」についてー	総合文化学科	准教授	木内公一郎
私の「図書館二十五快」ー市島春城「図書館二十五快」に寄せてー	総合文化学科	教授	大橋敦夫
図書館との付き合い方ーブラウジング雑考ー	幼児教育学科	専任講師	浜野兼一
本学教員の新刊著作			4
苦手な読書	幼児教育学科	1年	横山佳代
本の魅力	幼児教育学科	2年	吉澤佳緒里
本のある生活	総合文化学科	1年	岡田ちひろ
国立国会図書館の実習を終えて	総合文化学科	2年	渡邊美那子
図書館ガイド			7
図書館ニュース 第11回七夕文学賞			8

CONTENTS

学長	小池 明	1
総合文化学科	准教授	木内公一郎
総合文化学科	教授	大橋敦夫
幼児教育学科	専任講師	浜野兼一
幼児教育学科	1年	横山佳代
幼児教育学科	2年	吉澤佳緒里
総合文化学科	1年	岡田ちひろ
総合文化学科	2年	渡邊美那子
		7
		8

社会人が学ぶということ

—「図書館職員学び直し講座」について—

総合文化学科 准教授 木内公一郎

上田女子短期大学では平成21年11月より「図書館職員学び直し講座」を開設しました(協力:長野県図書館協会)。これは図書館職員などを対象にしたリカレント教育プログラムです。

平成24年度より図書館司書資格取得のための科目が大幅に変わります。既資格取得者には直接関係ありませんが、新しい知識や技術の取得は必要になります。また昨今の図書館界では正規職員が減り、非正規職員が増加するなど、知識や技術の継承が難しくなっています。一方で、教養娯楽などを中心とする図書館から医療や法律など生活に密着した情報を提供する課題解決型サービスも可能な図書館への変化も推奨されています。また全国的にみると貸出冊数は毎年増加しています。このように図書館は地域の情報拠点としてますます重要になっていますが、職員の資質向上は必ずしも追いついていないのが現状です。

この講座では所定の6科目(120時間)履修した受講生には、履修証明書「長野県専門司書」を付与します。履修証明とは学校教育法に基づき、社会人が体系的な教育プログラムを120時間以上履修すると、学んだ内容を保障し、社会に対して証明する制度のことです。この教育プログラムを通じて新しい環境に十分対応できる専門的な司書を養成し、長野県の図書館振興に貢献したいというのが本学の強い願いです。

すでに第1講座「図書館総合演習」、第2講座「情報サービス演習」が終了しています。

第3講座「図書館制度・経営論」を10月15日に開始しました。この講座は松本大学を主会場として、中信や南信地域の方が参加しやすいように工夫しました。本来は全地域で開講されるべきですが、本学として開講可能な範囲から取り組みを開始した次第です。

開講以来のべ200人以上の方が受講しています。月曜日の昼間の時間帯に開講していますが、皆さん熱心に受講されています。受講者内訳は学校図書館司書、公共図書館司書が大半を占めます。予想以上に学校図書館司書の方が多という印象があります。講座の内容は公共図書館向けなのですが、学校図書館司書の方は一人で図書館を任せられていることが多く、なか

か研修の機会もないというのが理由でしょう。講座ではこのことに留意し、学校図書館の方に配慮した課題を出すように工夫をしています。

仕事を持った人が学ぶということは様々な制約を伴います。勤めていれば、少なくとも夕方6時くらいまでは仕事です。勤めていなくても、家庭を持っていれば、家族の世話をしなくてははいけません。しかし仕事と家庭に対して責任を負っているのが、30歳代から40歳代以上の方です。しかも、一番新しい知識や技術を必要としているのもこの働き盛りの世代です。

最近は社会人向けの夜間大学院も開講され、夕方仕事を終えた後に、学生として研究をしている人も増えています。筆者も30代のときに夜間大学院で修士の学位を取りました。研究ができるのは平日の夜と休日しかありませんし、もちろん自由時間すべてを研究に使えるわけでもありません。少しでも座る時間があつたら、論文を書くようにしていました。

「図書館職員学び直し講座」の受講者の方もこの世代が多いようです。大学院ほどでもないにしても、定期的に時間を割いて勉強することは大変なことだと思います。各講座の最後には研究発表と論文提出があります。大学卒業以来、論文も書いたことがないという方も多いようですが、レベルは上がってきています。

大学・短期大学はこのような向学心をもった社会人のニーズに応えることができるようにより進化していくべきでしょう。

本学としても、取り組みが始まったばかりですが、今後も少しでも受講しやすい環境を整えていきたいと考えています。(了)



私の「図書館二十五快」

—市島春城「図書館二十五快」に寄せて—

総合文化学科 教授 大橋 敦夫

◆早稲田大学図書館初代館長市島春城の業績

2010年は早稲田大学図書館の初代館長である春城市島謙吉氏(1860-1944)の生誕150年にあたることから、同大で、市島春城展(3.5～4.21)が開催されました。

大隈重信らとともに、東京専門学校(のちの早稲田大学)の創立に関与、新聞人、さらには衆議院議員としても活躍した市島氏ですが、図書館長としての15年間(1902-1917)の功績は、次の3点とされています。

- ①自らの目と足で資料収集に尽力し、就任時に3万冊ほどだった蔵書を5年目には、10万冊の大台に乗せた。
- ②稀覯本の収集にもその才を発揮、そのうちの何点かは現在、国宝や重要文化財に指定されるなど、貴重資料も収集した。
- ③収集した資料の積極的公開を企画した。

◆市島春城「図書館二十五快」

市島春城展では、自筆資料のほか、彼が収集し図書館蔵となった貴重資料など、多くのものが展示されましたが、図書館人としての姿勢を示す解説パネルが目玉をひきました。

それは、「古書あさりと図書館生活」(『春城随筆』早稲田大学出版部1926.1)と題された一文の後半部分を紹介したものです。以下に、私に番号を付して引用してみます(原文は、縦書き、旧字旧仮名遣い)。

自分は曾て図書館を管理した時、書物を愛する上に愉快を感じる場合を数へ立てて見たことがある。(中略)即ち試みに二十五快を左に列挙する。

1. 新館完成の時。
2. 図書費の増額を得た時。
3. 不時に図書費の収入を得た時。
4. 数年を費やした目録カードの脱稿した時。
5. 数年を要した写本の成りたる時。
6. 図書館整理に段落を告げた時。
7. 図書の数、十万を突破の都度。
8. 欠本の完本となった時。
9. 紛失の図書の発見された時。
10. 雑本より貴重書を発見した時。
11. 修理成りたる製本に題簽を録する時。

12. 新購書に蔵印を捺す時。
13. 不備を感じた図書の備わった時。
14. 廉価に佳書を購入得た時。
15. 会心の陳列を為し観者を喜ばしめた時。
16. 図書調べの結果一冊の「欠」もなき場合。
17. 練達の館員(司書)を得た時。
18. 他館に無き稀覯の書を得た時。
19. 館本その他館本に比し優りたる時。
20. 管理法、分類法等に新工夫を得た時。
21. 佳本の寄贈、寄託を得た時。
22. 近火に災を免かれた時。
23. 閲覧者満員並に図書の収穫多き日。
24. 或重要事件に館本の大なる働きをなした時。
25. 年度末に顕著な成績を発表し得た時。

◆私の「図書館二十五快」

百年近く前のものながら、ほとんどが共感を覚える内容です。当時と変わった点は、パソコンの導入で目録カードが過去のものとなったことぐらいでしょうか。

本学で司書課程に学ぶ皆さんを見守る立場で、私に「図書館二十五快」をつけ足してみましよう。

1. 資料調査に赴いた外部の図書館で、司書として活躍する卒業生に会った時。
2. 資格を生かし、書店や出版社で働いているとの報告を受けた時。
3. 私設図書館をおこしたという話を聞いた時。(あるいは聞く時)

—自らの職場を求めて、自ら学校をつくりあげた東京女子高等師範の卒業生(その学校が現在の桜蔭学園)のように、卒業生の協力で運営される図書館ができたら頼もしいですね。

電子図書館の可能性を考えると、ハコモノへのこだわりはやや薄れるかもしれませんが、人が集える空間作りも大事にしたいところです。

時代の進歩に歩調を合わせつつも、「本が好き」という気持ちをいつまでも大切にしていましよう。

図書館との付き合い方 —ブラウジング雑考—

幼児教育学科 専任講師 浜野 兼一

私は図書館に行ってブラウジングをすることが好きだ。ブラウジングとは、本棚をざっと眺め回して、目に付く本があればタイトルや目次などを拾い読みして情報を探すことである。

ブラウジングが好きな理由は三つある。一つは、感覚的な快感を得ることができるからだ。本に触れて、手に取り、ページをめくるといった一連の動作を通じて、本の大きさや重さ出版された時期など知る。

こうした感覚的アプローチを通して本に触れることは私にとってとても心地よいものである。このような理由から、図書館でのブラウジングの時間が長くなるほど、この感覚的な快感は深くなってゆく。

二つめは、嗅覚的な快感である。図書館には独特の匂いがある。人によってはこの匂いを嫌うようだが、私にとって、「匂い」は図書館でブラウジングをしているという行為を構成する重要な要素だ。

久しぶりに足を運んだある図書館で、その図書館にしかない「匂い」を感じると、なつかしさとともに安心感のような感覚に包まれる。その一方で、その図書館には以前なかった「匂い」を感じると、時の流れが織り成す変化に気付くと同時に、もの悲しい感覚が去来する。

三つめは、思考的な快感ともいべきものである。「今日は〇〇の資料を探し出す」といった目標をもちブラウジングすることもあるが、「特に目的もなく」とい

うときの方が良い結果につながることも少なくない。つまり、目的があいまいなブラウジングが「意外な発見」を引き寄せる、ということである。この「意外な発見」によって、そこから興味がどんどん広がり、既有的知識の層にさまざまな刺激を与える。

現代社会は、情報通信ネットワークが発達し、ほしい情報を効率的に得られるシステムがつくり上げられている。しかし、上記で示した三つの理由は、図書館に足を運んでこそ味わえるものであり、インターネット上での蔵書検索や文献のリストアップからは得られない。

ところで、ブラウジングにより得た知識や資料は、自分の研究テーマとリンクしないことも多い。しかし、特定の分野を決めずにブラウジングを繰り返すことによって、研究テーマを別の角度からみたり分析するという視点が、自分の思考の枠の中にかたちづくられていることに気付く。これは、リラックスした状態でブラウジングを行うことにより脳が刺激され、思考を活性化させるからかもしれない。

リラックス状態がブラウジングをより楽しいものにする要素のひとつであるのは間違いない。つまり、ストレスが取り巻く緊張状態では情報が吸収しにくく、リラックスしていると情報が吸収しやすい、ということである。



2010年 本学教員の新刊著作



(今年発行の単独書・共著・分担執筆) 著者の五十音順

- * 大橋敦夫先生 『長野県方言辞典』 信濃毎日新聞社
2010年3月 16,800円 ISBN:9784784071265 (共著)
- * 長田真紀先生 『黄金の言葉』 勉誠出版
2010年1月 2,100円 ISBN:9784585032533 (分担執筆)
- 『日本史有名人の晩年』 新人物往来社
2010年5月 700円 ISBN:9784404038524 (分担執筆)
- * 小野智明先生 『地域福祉の今を学ぶ』 ミネルヴァ書房
2010年3月 2,940円 ISBN:9784623056910 (共著)
- 『保育が学ぶ家族援助論』 建帛社
2010年4月 1,890円 ISBN:9784767932675 (共著)
- 『社会福祉士国家試験過去3年頻出重要問題 2011』 実教出版
2010年6月 3,045円 ISBN:9784407319804 (共著)
- * 佐藤 厚先生 『遊びからはじまる学び: 今、幼児の表現活動を問い直す』 大学図書出版
2010年7月 2,730円 ISBN:9784903060668 (共著)
- * 西山秀人先生 『圏解日本古典文学』(台北市・城邦文化出版 2010年1月)〈『3日でわかる古典文学』
(ダイヤモンド社 2000年11月/大橋敦夫氏と共同監修)の台湾版〉 (監修)

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 苦手な読書

幼児教育学科1年 横山 佳代
◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

「あなたは本が好きですか？」…もしそう聞かれたら、あなたはへと答えますか？また「あなたは読書は好きですか？」と聞かれたらどうでしょうか。私は、本は好きですが、読書はあまり好きではありません。文字だけの、堅苦しい小説などよりも、イラストや写真に少ない文が添えられた本が好きです。つまり絵本ですが…絵本でも、1ページにたくさんの文が入ったものは、あまり読みません。

そんな私が中学三年生の頃、受験勉強もせずに、ひたすら本を読み漁っていた時期がありました。休み時間は、図書室に行くか、教室で本を読んで過ごし、今とは比べものにならないほど読書に夢中になっていました。小学生では読めなかった、大人向けの小説も読めるようになり、物語の世界の広がり、新しい知識の習得に喜びを感じていたのだと思います。そして高校に入学してからは、現実の世界が広がり始めるとともに、本の世界からは遠ざかっていきました。

世界が広がる、というのは、幾つになってもワクワク

クします。子どもの頃は、本によって世界を知ることがほとんどだと思います。特に、字が読めて、書かれていることが少しずつ理解出来るようになってきた子どもの輝く瞳は、見ているこちらまでワクワクさせるものです。彼らに「本を読むことは好き？」と尋ねれば、笑顔で「大好き！」と答えが返ってくるでしょう。その笑顔を想像すると、これから保育者になろうとしている者が、「読書が好きではない」では、子どものワクワクに心から共感出来ないだろう、と思いました。読書が好きではない保育者は、私の理想ではありません。本を読まない姿勢でいるのは、私の人生ではプラスになることはない。それならば、プラスになる方…本を読んだ方が良いではないか、と思いました。卒業する頃には「読書が好き！」と言えるようになりたいです。

余談ですが、中三の時に読んだ小説の拷問シーンがトラウマで、今も思い出して暗くなりました。これを忘れるくらい、素敵な本に出会いたいです！

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 本の魅力

幼児教育学科2年 吉澤佳緒里
◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

小学生や中学生の頃の私は、本を読むということにあまり興味がなく、図書館に通って本を借りることもほとんどなく、借りても途中で読むことをやめてしまい、読書に夢中になったことなどほとんどありませんでした。しかし、今は読書が趣味という少し言い過ぎになりますが、読書が好きでその時間が心地好くも感じられます。私の読書に対する意識が変わってきたのは、心に響くような気に入った一冊に出会い、さまざまな本を読んでいくうちにさらに素敵な一冊に出会い、そんな本がどんどん増えてきたからだだと思います。また、本を読んでいると共感していろいろな気持ちになります。悲しかったり寂しくなって涙を流しながら読んでいたり、心が温まるような優しい気持ちにもなれたりします。ですからつい時間を忘れて読書に夢中になっていることがあります。書店に足を運んだ時も、あらすじを読んで先が気になるとそこで購入するようになりました。

本学の幼児教育学科に入学して絵本に触れる機会も

多くなりました。実習の前に子どもの年齢や発達に応じて絵本を選んだり、内容やイラストによっても「この絵本だったら子どもたちも気に入ってくれるのではないかと、たくさんの絵本を探し、触れていく中で絵本にも魅力を感じるようになりました。実習では、子どもたちの前で読み聞かせをする経験も何度もしました。まだ字が読めなかったり、自分では上手く読めない子どもなどさまざまですが、絵本が好きな子どもが多いです。私はそんな子どもたちに「もっと絵本に興味を持ってもらいたい」、「読み聞かせの時間が楽しみにするように」と、思いを込めて読んでできました。

私にとって本とは、思わず笑いたくなる楽しさや自然と涙が流れる悲しさなど、いろいろなことを感じさせてくれる貴重な存在です。また、心に安らぎのような静かな時間をも与えてくれます。これからもたくさんの本に出会い、心に響く一冊を増やしていきたいです。



本のある生活

総合文化学科1年 岡田ちひろ



「あなたにとって本とは何か。」
そう問われた時、どういう風に答えるか、考えてみた。

「なくてはならないもの。」
と答えると思う。恐らく、大真面目に。本のない人生など、想像ができない。

数少ない、色濃く残っている幼少の記憶の中に、私に絵本を読んでくれとせがまれて困っている祖母の姿がある。本の読み聞かせというのはいざ行ってみるとなかなか恥ずかしいもので、今となっては祖母に少し申し訳ないことをしたなと思っている。だが、その反面、祖母や母が、私が本を抱えて駆け寄っていくたびに、嫌な顔一つせず受け入れてくれてよかった。家族がそうしてくれてくれたから、今の私がいるに違いない。

こうして自他共に認める本好きに成長した私だが、読む本にはかなりの偏りがある。ほとんどが小説、あるいは絵の描き方、文章の書き方講座のようなものである。短大に入学してからは様々なものに興味をもつ

ようになったので（たとえば図書館司書について、など）読む本のジャンルの幅は、やや広がったと思われる。今現在は日本刀や百人一首について調べたいという願望を持っており、今後もより多くのジャンルの本を読みたいと思っている。

私の周りにはたくさん本好きの友人がいる。私がこのように思うようになったのは、少なからず彼女らの影響があつてのことだろう。彼女らから受けている影響は、私にとって得るものの多いものだ。今まで名前しか知らなかった作家の作品を読むきっかけになったり、視野に入っていなかった事柄を深く知る機会になったりする。私も彼女らにそういういい影響を与えられていると信じたい。

私はこれからも、本を読むことを楽しみながら、どんな欲に知識を蓄えていきたいと思っている。そして、それが少しでも未来の自分の役に立つように一冊一冊を読み進めていきたい。



国立国会図書館の実習を終えて

総合文化学科2年 渡邊美那子



私は夏休みに国立国会図書館で実習をしてきました。この図書館は日本で唯一の国立図書館で、日本の図書館の中心です。国立国会図書館の特長として、国内で発行された本や雑誌（資料）などを納本する制度や一般向けに貸出を行っていないこと、国会議員や関係者向けのサービスがあります。私はこの実習で、納本されてきた本の流れや、利用者の方に使いやすいと思ってもらえるような図書館作りについて学びました。

私が実習で一番驚いたのは、図書館の作業のほとんどが外注業者に委託されていることです。カウンターや管理データの入力などの作業は外注業者の方が担当しています。また、図書館員は交替でカウンターには出ますが、ほとんどが別室で作業をしています。なので、利用者の方と接することはありませんでした。

「図書館に関わる全ての人々が資料保存に関わっているんだよ。」これは、資料保存の作業をしている方の言葉です。国立国会図書館の役割には、国内で出版されている本や雑誌を半永久的に保存していくことがあ

ります。半永久的に保存していくためには、図書館で働いている人はもちろん図書館を利用する人も、扱い方には気をつける必要があります。実習中は資料に触れる機会もたくさんあったので、そのたびにこの言葉を思い出し作業してきました。また、普段図書館を利用するときも、本や雑誌を触るときは気をつけたいとおもいます。

今回の実習を通して、身近に司書の仕事を体験し、より司書という仕事に対する興味関心が深まりました。これから図書館を利用するときは、ただ借りるだけでなく、その裏では司書の方やたくさんの方に支えられているを感じながら、利用していきたいと思えます。私は、将来図書館司書として働くかはわかりませんが、国立国会図書館での実習は人生の糧になりました。

図書館ガイド

知識探索サイト ジャパンナレッジ

JapanKnowledge

図書館、情報処理演習室、研究室からアクセスできます。

<http://na.jkn21.com/top/corpdisplay>

次々ニューコンテンツ登場。データベース「ジャパンナレッジ」がアップデートされています。

★「日本の論点」公開！ 10/1～

日本で唯一の論争誌がついに登場。日本をリードする著名な論客があらゆるテーマで主張を展開します。1997年から最新版の2010年までの14年分を掲載。ジャンルやキーワード、執筆者などから目的の論文を探せる「日本の論点Index」もあり、論文へスムーズにアプローチ。1500にも及ぶ論文から今の日本が見えてくる。



★「コウビルド米語版英英和辞典」公開！ 9/22～

『COBUILD英英辞典』は、約6億5千万語のデータベース、「生きた英語」による画期的な英英辞書です。今回、英英辞典の特徴はそのままに、日本人学習者向けに語句の意味・例文・説明などの日本語訳が新たに加えられました。コウビルドの最大の特徴である、「フルセンテンスによる定義」で語句の意味を正確に理解し、各語句の実践的な用法や簡略で自然な英語表現も身につけられます。また、各単語に付与されたサウンドボタンをクリックすると、ネイティブスピーカーの正しい発音を確認することができます。



学生サークル

2010年4月“FLC (Future Librarians Club)” 発足！

図書館サークル“FLC”は、授業の空いている時間に、図書館で活動します。学生のみなさんに図書館への興味をもっと広く持ってもらえるような活動をしていきます。

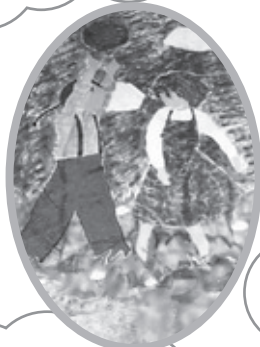
壁新聞『FLC通信』を作っているんな特集を載せています。よく借りられている本を知ることができるし、楽しい!!



学海祭で絵本を題材としたスタンドグラスを作りました



利用者とは違った視点で図書館に関わることができてよかった。



手探りで、強行スタートしたFLCですが、経験を重ねてこれから飛躍させていきたいです

FLCを始めてから「もっと図書館のことを知りたい！理解したい！」と思うので授業にも身が入ります。



学海祭のオススメの本のポップ、どのように見せたらみんなに興味を持ってもらえるのか表現の仕方が難しかった。

